

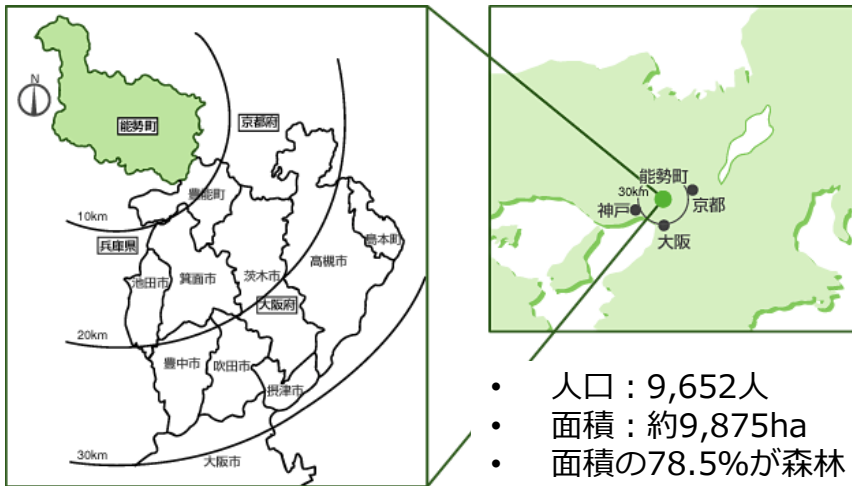
能勢の里山における地域資本循環型 ゼロカーボントウンの構築

大阪府能勢町



地域の実態

能勢町の概要



大都市近郊に残された貴重な里山

- 環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に多く選出
- 生物多様性に優れた自治体ランキングの生態系の豊かさと便益を評価する指標群で全国1位
- 町内唯一の高校は2020年の全国ユース環境活動発表大会近畿大会で優勝。ローカルなSDGs実践校。



【ヒロオビミドリシジミ】



【銀寄栗：能勢町発祥】

課題解決先進地へ



**自治体運営方法の抜本的な見直し
(効率化) が不可欠**



SDGsの視点から、多面的な解決策を考える

里山資源の魅力を活かすまち

- 里山の重要性が広く認知され、近隣都市の住民が、生きものとの触れ合いやグリーンツーリズムの場として来訪
- 植林を含む里山林が適切かつ健全に維持管理

移動の自由を楽しむまち

- 電動補助自転車やシニアカーを活用しつつ、自然環境豊かなエリアで移動を楽しみながら健康増進につなげる取り組みも広く浸透
- 交通手段が多様化しており、地域外からの町内へのアクセスが容易

ひとつつながり、協力し合うまち ～里と都市のボーダレス化～

地域の経済循環の創出やゼロカーボントウンに向けた道を示す。
こうした取組を若者や圏域自治体等と共に推進し、先進的でかつ実践的な人材育成の場として、人々のつながりが多様に増している。

エネルギー・資金・経済・情報が循環するまち

- 地域エネルギー会社を核として、地域内でエネルギー・資金・経済・情報が循環
- エネルギーを無駄なく使うエネルギーマネジメントが浸透

ひとつひとつがいきいきと暮らす健康長寿のまち

- 人生100年時代にふさわしい、健康寿命が延伸した活力ある生涯活躍社会が実現

エネルギーを自律的に管理するゼロカーボントウン

- エネルギー利用の脱炭素化が大幅に進展
- 再エネ開発の適切なゾーニングが行われており美しい里山の景観と再エネ開発が両立
- 森林吸収源は他地域からの貴重な収入源に。収入確保により、林業経営の事業性が高まっている

グリーンレジリエンスを活かした災害に強いまち

- 住民の誰もが里山資源の使いかたを理解し、災害時には里山資源を用いて、ライフライン等の被害からいち早く回復できる体制
- 都市部での災害時に、里山資源を用いて都市住民の生活のバックアップを担えるような体制

自治体モデル事業の概要

取組概要

地域エネルギー会社によって、地域内の再エネの最大活用と域内施設のエネルギー利用の高効率化を進めるとともに、適切な森林管理により脱炭素化に向け挑戦を続ける（環境）。これによりエネルギー等を通じた地域からの富の流出を抑え（経済）、生み出された資金で教育・交通・防災などの里山地域の課題に取り組む（社会）。

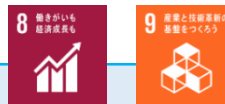
環境



課題：気候変動への対応

- 地域内再生可能エネルギーの域内循環形成
- グリーンレジリエンスの推進
- 実測データを活用したエネルギー利用の高効率化
- 自治体・企業連携によるカーボンオフセットの仕組みづくり

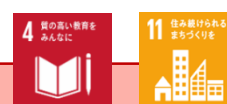
経済



課題：地域からの富・データ・人材の流出

- 地域エネルギー供給範囲の拡大
- 地域再エネを最大限活用するエネマネの促進（本事業の対象外）
- 熱エネルギー利用拡大プロジェクト
- 経済性を伴ったグリーンツーリズムパッケージの確立

社会



課題：移動手段の確保

- 電動軽車両の利用促進プロジェクト
- 公用車等の電動化プロジェクト
- 地域の高校と連携した人材サイクルプロジェクト

課題：自然災害等の増加

- 災害時エネルギー供給プロジェクト

三側面をつなぐ統合的な取組①

取組概要

地域エネルギー会社の収益の一部を様々な地域課題を解決する取組への資金に回す際、住民等の主体が、応援したい取り組みを選択（応援）できるスキームを組み込む。こうすることで、取組の実施主体と一般住民の距離を近づけるとともに、各取組主体の活動の活発化を目指すとともに、本計画への協力者・賛同者を自律的に増やす。

①

エネルギーを通じた「応援」の仕組化

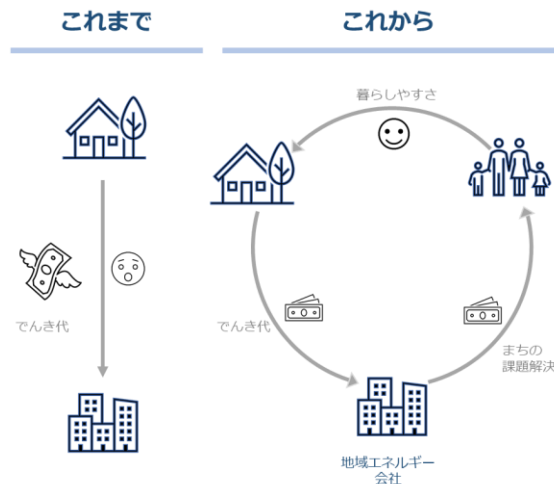
地域エネルギー会社の収益を里山整備や教育など地域のSDGs活動に還元。能勢ファンをつなぐ仕組みを構築。



②

地域における富の見える化

家電版第三者保有モデルの検証など富の流れを見える化し、域内での資金循環を創出。



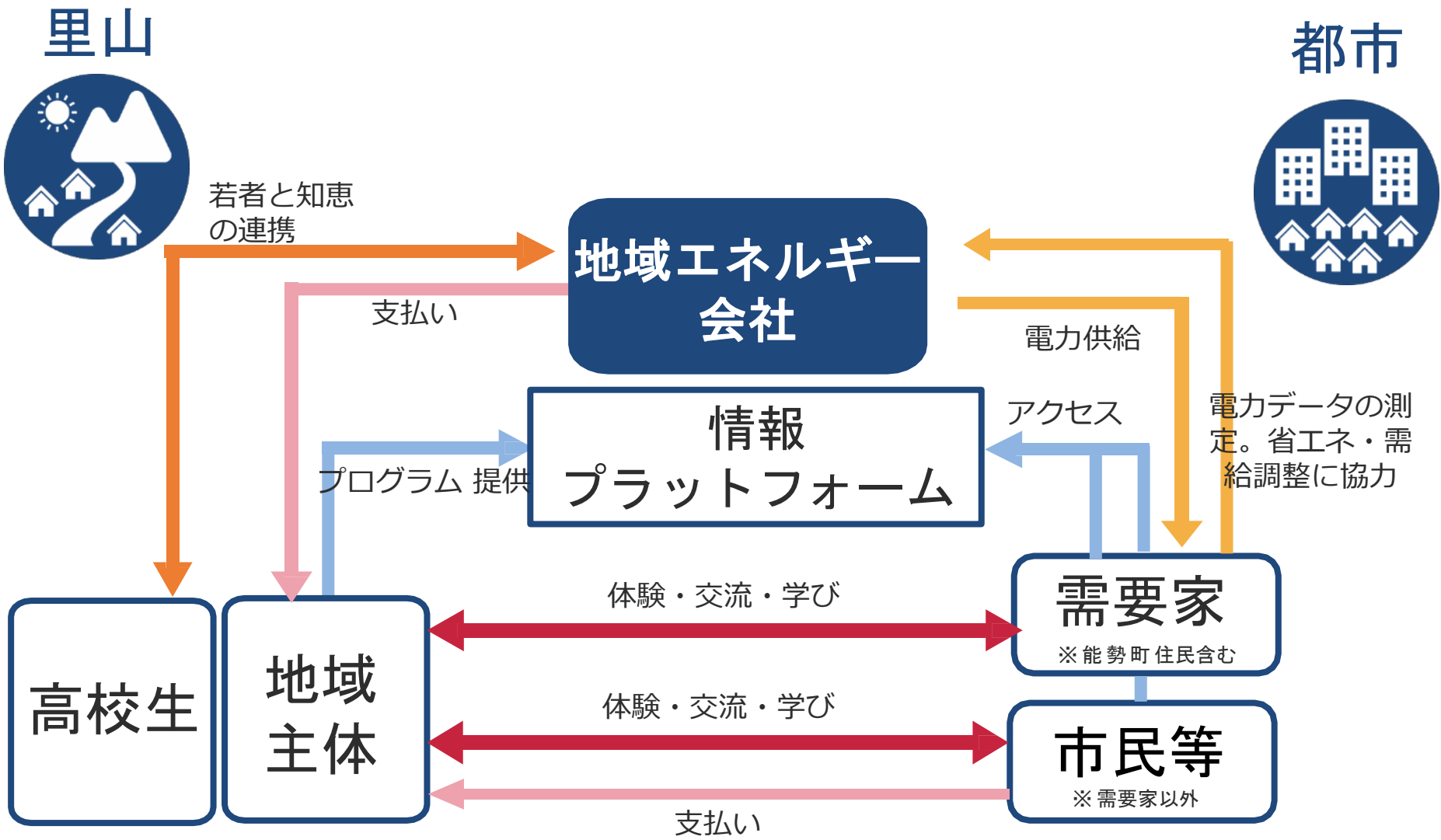
③

地域再エネの導入拡大に向けた合意形成の促進

「能勢里山未来都市推進協議会（仮称）」を設置し、多様なステークホルダーとのパートナーシップを促進。



三側面をつなぐ統合的な取組②



三側面をつなぐ統合的な取組③

能勢里山未来都市推進協議会（仮称）

能勢町

町長のリーダーシップにより全庁的にSDGsを推進、マネジメントする。

住民・地域団体

- エネルギー費用の支払いを通じた地域活動の「応援」
- 各種地域活動への参画

能勢の里山活力創造推進協議会

- 能勢町の里山資源の保全
- 都市部との交流事業

(株) 能勢・豊能まちづくり (地域エネルギー会社)

- 収益の一部を移動手段の確保や再エネに再投資
- エネルギーを軸とした地域SDGs活動応援の仕組化

大阪府立豊中高校能勢分校 (地域魅力化クラブ)

- 通学課題等の解決策の検討
- 本計画の広報支援

(株) 冒険の森

防災拠点フィールドの提供

情報発信

応援・協力

域外の住民

里山資源の体験、保全

大学・企業

- 実証事業等の共同実施
- データの定量化支援

近隣自治体

- 事業協力
- 里と街の連携協力を推進

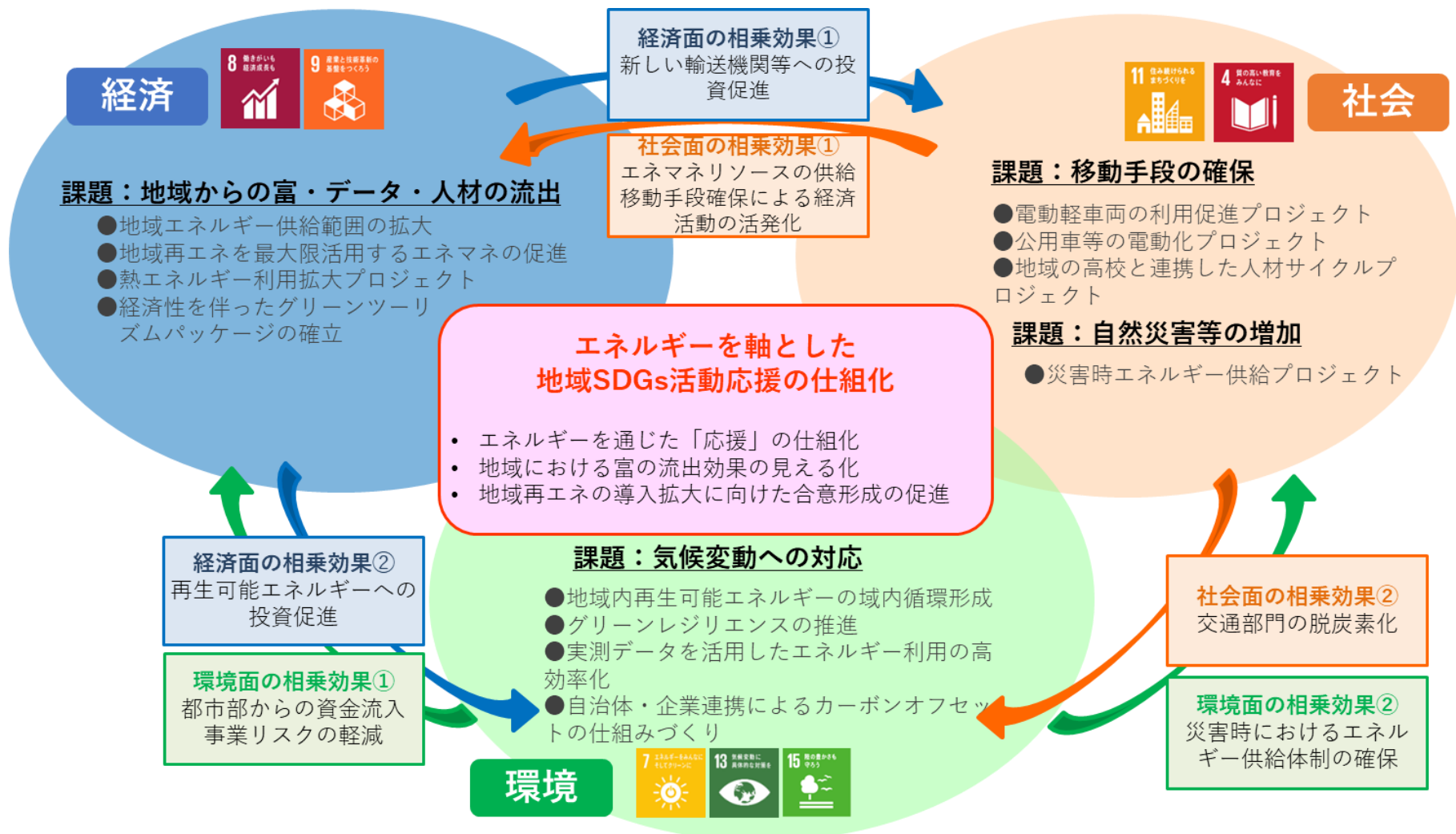


里山 DAY CAMP in NOSE



2019年8月17日(土) 12:00 - 17:00
※お昼ごはんは含まれていません！
※参加費 吹田市役所 (吹田市泉町 1-3-40)
【受付時間】 受付時間 10:00 - (解散) 17:00
【場所】 旧能勢町立 歌徳小学校
※吹田市役所に集合後、バスにて移動します
お名前..... 申込みは 1 席！

経済、社会、環境の各側面の相乗効果



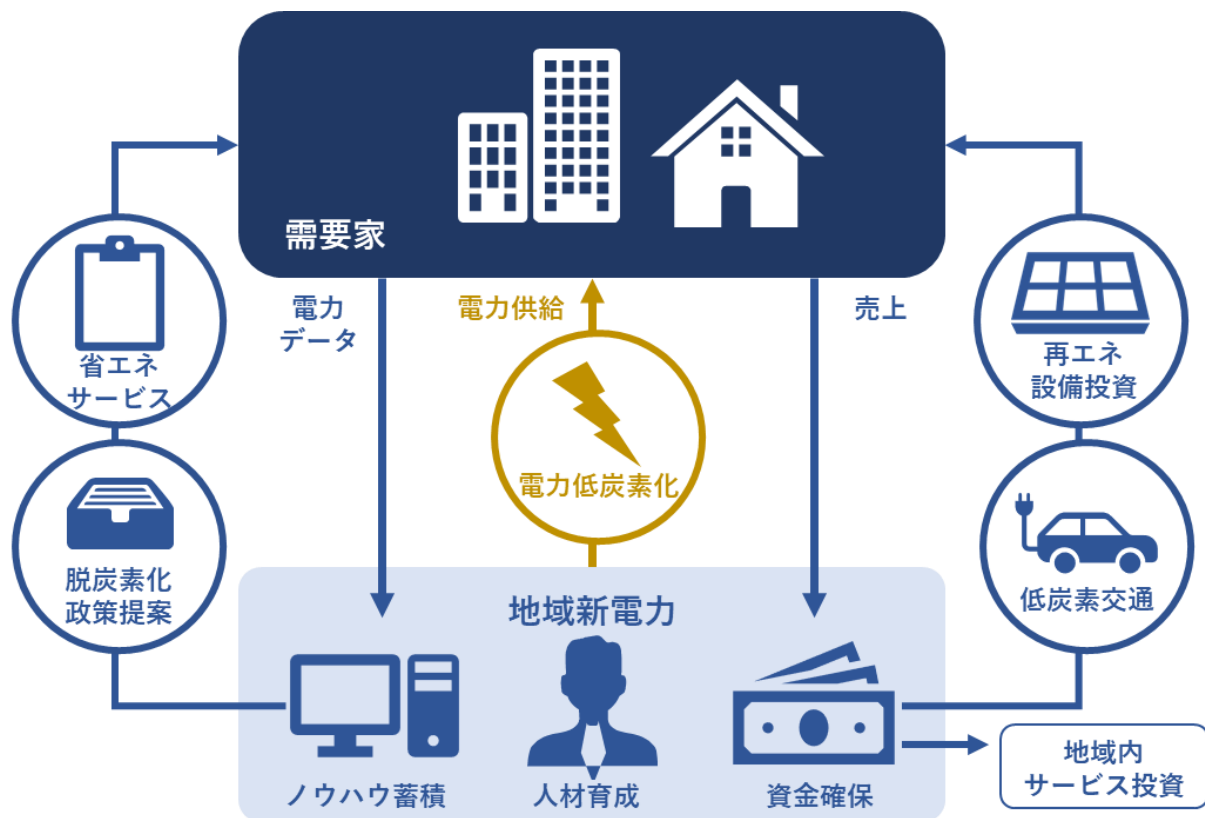
自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



Point

需要家のロイヤリティの確保

地域エネルギー会社の事業を通じた①**資金**、②**情報・データ**、③**人材**をまちづくりの資本として自律的好循環の実現を目指す。



最後に

エネルギーを変える。まちが変わる。
能勢の里山から新しい未来の都市像を発信する。

